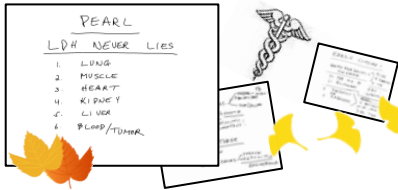




今年も残すところあと1ヶ月となりました。研修医ミーティングの内容も年度末に向けてだんだん各論に入ってまいりました。基礎の基礎から初期対応各論まで広い範囲にわたる各専門の先生からの多彩な生きたレクチャー、また大リーガープロジェクトとして世界的に偉大な先生との空間と時間の共有・・・大学病院だからできることと心より感謝しています。ブラッシュアップセンターの多大なご協力により今年度開催されたセミナーはほとんどがe-learningで視聴できます(視聴方法などお問い合わせは教育センターまで)。研修医はもとより、医療人として自身の向上を目指す全ての方にお役に立てることを心より願っています。

研修医 瓦版



総合臨床教育センター専任助教
在間 梓

Vol. 8

～海外から三人の偉大な先生方をお招きしました～

発行:神戸大学医学部附属病院 総合臨床教育センター(内線6980)

☆11月の研修医ミーティング(平均参加人数42名/回)

- 11/5(火) 山川 先生(2年目) 井本 先生(1年目) 腹痛① (指導科:消化器内科 南先生)
- 11/6(水) 山川 先生(2年目) 井本 先生(1年目) 腹痛② (指導科:消化器内科 南先生)
- 11/7(木) 食道胃腸外科 金光 先生 腹痛③
- 11/12(火) 耳鼻咽喉・頭頸部外科 井之口先生 救急外来でみる耳鼻科疾患
- 11/14(木) 産科婦人科 新谷 先生 他科医にも知っておいて欲しい産婦人科 minimum essence
- 11/27(水) 整形外科 李 先生 骨折のプライマリケア
- 11/28(木) 眼科 山田 先生 眼科救急疾患



～主要症候鑑別シリーズ&救外プライマリケアシリーズ～

～大リーガー医プロジェクト～

今月は世界的に活躍されている三人の先生をお招きして、貴重な講演をしていただきました。

11/1(金) 藤本 淳也先生(呼吸器編)
～所属:MDアンダーソンがんセンター

世界有数の組織バンクを有するMDアンダーソンがんセンターの臨床研究のトップランナーから若手研究者へ熱いメッセージを届けていただきました。院内・院外問わず病理診断を専門とされる先生方を中心に多数のご参加ありがとうございました。



《18:30～20:00 大講義室にて》

11/8(金)・13(水)・29(金) 木村 健先生(医学教育編)

～所属:アイオワ大学
10月に引き続き、11月も3回のご講演をしていただきました。後半は大学病院に勤務する方向けに具体的な米国の医学教育・医療制度を例をあげながら熱いレクチャーとなりました。

《18:00～19:30 シスメックスホールにて》

11/20(水)～23(土) Lawrence M. Tierney Jr.先生(内科編)

～所属:カリフォルニア大学サンフランシスコ校

「診断学の神様」と称され、米国を代表する内科医ティアニー先生を今年もお招きしました。特に23日は神戸大学関係者はもとより、近畿をはじめ、関東・東海・中国各地から指導医・研修医・学生約60名も参加され、大盛況となりました。あのティアニー先生の鑑別診断に直に触れることのできる貴重な4日間でした。

【ケースカンファレンス】 《いずれもシスメックスホールにて》

- 11/20(水) 12-13 総合内科
- 11/21(木) 17-18 感染症内科
- 11/22(金) 消化器内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科

【11/23(土) 学生・研修医によるケースカンファレンス】

13-16 「どうなの?ティアニー先生!～僕たちのプレゼンを聞いてください～」



～プレゼンしてくださった先生・学生の皆様～

～12月ミーティング予定～

《救外プライマリケアシリーズ》

小児科のテーマ「小児科医ではない医療者のための子どものはなし」

- 12/3(火) 小児科 早川 先生
「こんな時にこんな薬:代表的な諸症状に対する薬の選び方、量の決め方(特殊指示を含む)、禁忌」
- 12/4(水) 小児科 中川 先生
「幼少児の発熱とけいれんの初期対応について」
- 12/10(火) 小児科 忍頂寺先生
「感染性腸炎・脱水症の初期対応、輸液の考え方、検査値の見方」
- 12/18(水) 皮膚科 永井 先生
「知っておきたい皮膚科の基礎知識-皮疹の診かた-考え方-」
- 12/19(木) 腫瘍・血液内科 今村 先生 「がん救急」
- 12/24(火) 泌尿器科 重村 先生
「尿路結石、水腎症について」
- 12/25(水) 心臓血管外科 井上 先生
「知っておきたい心大血管疾患の緊急手術適応」

Kobe GM Conference

★場所:MSD株式会社神戸事務所
★日時:12/5(木) 19:00～21:00
神戸大学からは2年目研修医藤堂先生による「千年の眠り-意識障害の一例-」です。
～指導医・研修医の皆様、ぜひ参加してください!～